

令和7年度 学校評価(経年比較入り)

5割(教職員は10割)以上
肯定的回答69%以下の指標

指導内容	評価者	教職員			生徒			保護者			自己評価 今後の方針	学校関係者 コメント			
		評価指標	肯定評価割合(%)			評価指標	肯定評価割合(%)			評価指標			肯定評価割合(%)		
			R7	R6	R5		R7	R6	R5				R7	R6	R5
【1】確かな学力の育成(知)															
①主体的な学習態度を育成する。	生徒が興味・関心を持ち主体的に取り組めるよう工夫して授業を行ったか。【個人】	95	84	94	私は、学校の授業に興味・関心を持ち、自ら取り組んでいる。	95	93	90	わが子は、興味・関心を持ち、自ら学習に取り組んでいる。	84	51	63	①②「主体的・対話的で深い学びの実現」を意識した授業を生徒と教職員で行えることが多かった。 ③各教科の課題や自学ノートに対してやる意味や、それを継続することの意義を見出し価値あるものとしてきちんと取り組む生徒が多かった。また、それを自己肯定感にまでつなげている生徒も見られた。 ④長期休業中の課題をBookPCで行ったが、プラス面もマイナス面もあった。来年度は各教科で実態に応じた形で行う。 ⑤学校図書館に書籍で資料を集めようとする1冊が非常に難しい。書籍には情報の確かさがある一方、情報が更新されないデメリットもある。また、学校図書館に行きその場で学習というよりも、必要な教科等でブックトラックを使用して、教室付近に置き活用するなどを検討するのも良い。		
②(主体的)・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。	個に応じた指導や授業形態の工夫等により、「(主体的)対話的で深い学び」につながる指導に努めたか。【個人】	85	84	94	学校の授業では、個別・グループなどさまざまな学び方をしており、よく理解できる。	98	96	92	学校は、子ども一人一人に応じた指導やグループで協力して取り組む学習を行っている。	89	80	79			
③学習習慣の定着を図る。	家庭学習の習慣化を図る取組を行ったか。【個人・学年部】	100	84	94	私は、家庭学習の習慣が身に付いている。	81	82	72	わが子は、家庭学習の習慣が身に付いている。	69	66	59			
④ICTを効果的に活用する。	生徒の学力育成と情報活用能力育成のため、ICTを効果的に活用したか。【個人・学年部】	86	84	94	学校ではICTを活用した学習を行っている(ブックPCの持ち帰り活用も含む)	81	85	83	学校は、ブックPCの活用などICTを効果的に活用した学習を指導している。	84	78	73			
⑤ふるさと教育の視点を踏まえながら、キャリア教育の推進を図る。	地域の「ひと・もの・こと」の活用を高め、生徒一人一人が課題発見・解決力を高め、自己の生き方について考えを深める取組を行ったか。【学年部】	100	95	94	学校では総合的な学習の時間などを通して、ふるさとのことや職業などについての学習を行っている。	92	91	88	学校は、総合的な学習の時間などを通して、ふるさとのことや職業などについての学習を行っている。	87	84	85			
⑥学校図書館を活用した教育の充実を図る。(生徒・保護者は読書について)	学校図書館の機能を活用した授業に取り組んだか。【個人・学年部】	52	47	50	私は、朝読書の時間以外にも本や新聞などを読んでいる。	42	45	48	わが子は、家で本や新聞などを読んでいる。	24	36	27			
【2】思いやりのある心豊かな人間性の育成(徳)															
①生活規範を徹底指導し、礼儀正しく、思いやりのある生徒の育成を図る。	きまりの遵守やあいさつ、話の聞き方、人との接し方等の基本的な生活規範と思いやりを身に付けさせるよう指導したか。【個人】	96	89	95	私は、きまりを守り、礼儀正しく思いやりのある態度で生活している。	92	92	91	学校は、きまりを守り、礼儀正しく思いやりのある態度で生活するよう指導している。	89	80	86	・いずれの項目についても肯定的評価が高く、今年度の取組を継続していく。 ⑤学習の取組を把握していない保護者にも伝わる広報の発行ができるとうい。 ・基本的に生徒の規範意識が高いと思われる。今後も適切な指導を続けていただきたい。 ・不登校や不登校傾向の生徒への対応を引き続き丁寧に行っていただきたい。地域としても保護者や本人の困り感が分かれば学校に伝えていきたいと思っている。		
②有意義な学校生活である実感を持たせる教育活動を行う。	生徒会活動や学校行事の取組を通して、自己有用感を高め、達成感を感じさせるよう工夫したか。【個人】	96	89	95	私は、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事や生徒会活動に一生懸命参加し、充実感を感じている。	97	96	96	わが子は、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事や生徒会活動に取り組む、充実感を感じている。	98	80	91			
③体験活動を活かした道徳教育、学級活動、総合的な学習を推進する。	学年部で協力して、体験活動を活かした道徳、学級活動、総合的な学習の充実を努めたか。【個人・学年部】	95	95	89	道徳、学活、総合の時間では、行事やこれまでの学校生活について振り返り、今後の生活に活かす学習をすることがある。	98	92	91							
④生徒理解を基盤とした生徒指導と、個に応じた自立を促す特別支援教育を推進する。	教育相談や普段の声かけなどを通して、生徒との共感的な人間関係づくりに努めたか。【個人】	100	89	89	私は、悩みや困ったことなどがあれば、学校で友達や先生に相談している。	71	74	76	わが子は、悩みや困ったことなどがあれば、家庭で親やきょうだいに相談している。	83	80	78			
	生徒支援会議等で情報を共有し、対応を検討して、必要な生徒に適切な支援を行ったか。【学年部・全体】	95	89	90											
⑤生徒の人権意識を高め、温かみのある集団・人間関係づくりを行う。	人権集会、学年・学級活動等を通して、生徒の人権意識を高め、温かみのある集団・人間関係づくりを目指す指導を行ったか。【個人・学年部・全体】	100	95	90	私は、人権集会や学年・学級活動等を通して、人権意識を高め、いじめやからかいのない集団を作ろうと努力している。	96	94	81	学校は、人権集会や学年・学級活動等を通して、生徒の人権意識を高め、温かみのある集団・人間関係づくりを支援している。	83	74	83			
【3】たくましい心身の育成(体)															
①生活習慣の適正化と学習時間の確保のため、メディアリテラシーを継続的に指導する。	生活習慣を適正化し、学習時間を確保するため、メディアとの適切な関わりができるように、意志と実践力を育てることに努めたか。【個人・学年部】	76	68	79	私は、インターネット、SNS、ゲーム等のプラス面、マイナス面を知り、メディアと適切に関わるよう意識している。	91	89	87	わが子は、インターネット、SNS、ゲーム等のプラス面、マイナス面を知り、メディアと適切に関わるよう意識している。	67	61	60	①生徒の自己評価に比べて、教職員および保護者の評価が低い。生徒は自制できていると考えている一方、大人(教職員・保護者)の視点ではできていないと捉えている傾向。学校だよりや長期休業前などに保護者に協力をお願いしていく。 ②部活動は「生徒が自主的におこなうもの」であると考え、生徒肯定率が高く、良好と考える。今年度の取組を継続していく。 ③性についての学習は1年パースディ、2年生性、3年デートDVで講演会を行う。また、保健の学習(1年心身の発達と性、2年事故、3年性感染症)を行っており、全学年を通して発達に応じた系統的な学習を行っている。健康・保健に関する学習の取組を把握していない保護者にも伝わる広報の発行ができるとうい。		
②人間形成を目的とした部活動を推進する。	部活動を通して、個性の伸長と礼儀、連帯感、忍耐力等を養い、心身の健全な育成に努めたか。【個人】	90	95	94	【部活動加入者のみ】私は、部活動を通して、自分の特技を伸ばすとともに、部員同士で協力して活動してやりがいを感じている。	96	99	81	【部活動加入者のみ】私は、引退までの活動を評価【学校は、部活動を通して個性の伸長と礼儀、連帯感、忍耐力等を養い、心身の健全な育成に努めている。	84	72	85			
③健康や命に関わる各種教室等を実施する。	薬物乱用防止教室、性に関する指導、食育に関する指導等を計画的に実施したか。【全体】	100	95	100	私は、健康や命に関わる授業に意欲的に取り組んでいる。	93	95	91	学校は、健康や命に関わる学習(健康教育、薬物乱用防止教育、食育、性教育など)を計画的に行っている。	81	89	82			
④安全や防災の意識の高揚をはかる。	交通安全教室や避難訓練等を通して、安全や防災の意識を高める教育を推進したか。【全体】	100	95	95	私は、交通安全教室や避難訓練に真剣に取り組んでいる。	96	99	98	学校は、交通安全教室や避難訓練等を通して、安全や防災の意識を高める教育を行っている。	89	89	83			

令和7年度 学校評価(経年比較入り)

5割(教職員は10割)以上↑ 肯定的回答69%以下の指標
 5割(教職員は10割)以上↓

指導内容	教職員			生徒			保護者			自己評価	学校関係者			
	評価指標	肯定評価割合(%)			評価指標	肯定評価割合(%)			評価指標	肯定評価割合(%)			今後の方針	コメント
		R7	R6	R5		R7	R6	R5		R7	R6	R5		
【4】保護者、地域から信頼され、応援される学校づくり														
①学校教育の計画や内容を、積極的に情報発信する。	学級・学年・学校だより、ホームページ(ブログ)等により、教育活動の様子を保護者や地域に情報発信していたか。【全体】	100	100	95	学校から出されたお便りは自分でもよく読み、その日のうちに保護者に渡している。	76	77	73	学校は、お便りやHP(ブログ)等により、教育活動の計画や内容を積極的に情報発信している。	92	85	80	①情報発信が適切に行われており、保護者の肯定的評価も増えている。校長ブログやお便りのメール配信などが効果的だったのではないか。 ③経年比較でポイントは上がってきている。引き続き地域との連携を進め、その意義を生徒に積極的に伝えていく。 ・授業参観の機会を増やしていただき、より生徒の学校での様子や、教職員の皆さんの様子を見ることができてよかった。 ・修学旅行や研修等のまとめを公民館の文化祭に貸し出していただけるとうれい。 ・生徒さんには地域の行事等にたくさん参加していただき、感謝している。これらの活動もボランティア活動にあたると思うので、その点も生徒に伝えてあげてほしい。	
②保護者と教員のコミュニケーションの充実に努める。	保護者との日常的な連絡や地区懇談会、PTA活動への参加などを通して、保護者との協力的な関係づくりに努めたか。【個人】	100	100	100				学校は、日常的な連絡や授業公開・PTA活動などを通して、保護者との協力的な関係づくりに努めている。	86	70	86			
③地域との連携を深め、地域の教育力の有効活用に努める。	生徒のふるさとを愛する心・態度を育成するため、地域との連携や地域の教育力の活用に努めたか。【全体】	100	95	95	私は、地域の行事やボランティア活動等に参加している。	69	61	50	わが子は、地区行事やボランティア活動等に参加している。	51	50	47		
【5】教職員の指導力向上と協働体制の構築・服務規律の徹底														
①授業研究等で、授業力の向上を図る。	授業公開・授業研究会の場を提供し、相互の資質・技能の向上を図ったか。【個人】	90	74	81								①一年間の授業公開日を決定することで見直しをもって「見せら会」の実施ができた。また引き続き県内外等の研究会に計画的に派遣し、教職員の資質・技能の向上に努める。 ②③人材育成方針について共通理解を図る。業務負担のばらつきができるだけ少ない分掌配置・業務分担を引き続き行うとともに、担当任せにせず協力して業務を進めることについても共通理解を図る。		
②教職員が学校経営への参画意識を持って教育活動に当たる体制を作る。	教育活動の意義・手段を皆で論じ合い、参画意識を高めて、前向きに教育活動を進めているか。【全体】	100	79	89										
③教職員個々の適性と積極的な姿勢を、適材適所の分掌で生かす。	人材育成が意識され、年齢や経験に固執しない柔軟な校務分掌配置で、教職員個々の企画力・運営力の向上が図られているか。【全体】	95	74	74										
④教職員の服務規律の確保に努める。	服務に関わる研修等を、学期に1回以上行ったか。【全体】	100	100	100										